



2月18日 東地申50号

提出!!

「2020年度営業関係施策「(その4)」に ついての申し入れ【品川駅】

「2020年度営業関係施策「(その4)」では、湘南ライナー廃止に伴う、品川駅の体制見直しが提案されています。

ダイヤ改正により、東海道線にE257系車両が追加投入されるほか、新着席サービスの導入や特急湘南の新設により、利便性の向上が図られるとされています。また、出札の泊勤務の削減も示されています。

しかし、現場で働く組合員・社員からは…

お客さまにより快適にご利用いただくために、もっと改善すべきじゃないか？

安全は大丈夫？

出札のお客さまが増えたとき対応できるのかな？

多くの不安の声！

お客さまサービスを低下させない体制、社員の超勤が増加しない体制で窓口を運営することが必要です。お客さまがよりご利用しやすい環境を整え、サービス向上を目指すとともに、組合員・社員の不安を解消し、安心して安全に働くことのできる職場をつくらなければなりません。

●施策提案以降、現場では…

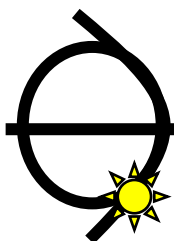
施策実施の2か月前を目安としている提案は「十分な議論の時間の確保」であるにも関わらず現場では万全な準備からは程遠い状況となっている！

実施日まで時間が無いよ(汗)

作業ダイヤ(案)

意見言ったけど反映してくれてないや

あれ？問題だったところが何も変わってないね



これまで様々な営業施策が行われてきた
『東京の南の玄関口』品川駅
これまでの施策のトレース結果を
会社は示すべきだ！





<申し入れ内容>

1. 今ダイヤ改正でホーム営業と出札窓口の泊まり勤務を削減した具体的根拠を明らかにすること。特に、窓口の販売体制については、現在のご利用状況から変化し、大幅に増えることが予想されるが、その認識と、増えた場合は早急に販売体制を強化すること。
2. 第4ホームにおいて入出区・回送電車の状態監視を取りやめる理由と根拠を明らかにし、安全性・安定性を低下させないこと。
3. 作業ダイヤについて、必要な業務は標準作業ダイヤに示される担務に指定すること。また、移動時間が考慮されていない作業ダイヤについては今改正で直すこと。
4. これまで、内勤営業を2徹化し、またサービスマネージャーの体制を強化してきたが、そのトレースと今後の考え方について示すこと。
5. 作業ダイヤ変更に伴う教育スケジュール、教育方法、習熟度の把握方法、判断方法について、具体的に示すこと。
6. お客さまがご利用しやすい駅、働きやすい駅をつくるため、以下の点を改善すること
 - ① 終電関係における「便宜」を「縛り」にすること。
 - ② 駅のエスカレーターは人感センサー可動式とすること。
 - ③ 休憩室の拡大をすること。
 - ④ 特急湘南については、これまでの湘南ライナーとは大幅な変更となることから、十分なお客さま周知を行い、運行前、運行開始後も含め案内体制・サポート体制を強化確立すること。また、社員に対する教育も十分に行うこと。さらに、指定席券売機における「自由席」表示を常磐線特急の画面を含め、削除すること。
 - ⑤ 平日の通勤快速がなくなること、快速「アクティー」の運行が大幅に縮小されることに対し現場では不安があるが、お客さまからの現状の反応と今後について考え方を明らかにすること。また、「アクティー」の愛称名を廃止すること。
 - ⑥ E657系・E257系の車両については、号車表示を両車端部、またはドア付近に掲示し、お客さまが分かりやすくすること。
 - ⑦ 折り返し電車のドア閉めについては、品川駅でもお客さまを挟む事象が発生していることから、労使で対策を検討し、安全性を高めること。
7. 今交渉に伴う議事録の締結については議事の要点を具体的に明記し、早急に締結すること。

**安全で働きがいの実感できる駅業務体制を構築し、
新たな輸送サービスをつくりだすために
会社の真摯な回答と議論を求めます！**